

かぜ薬

この説明書は本剤とともに保管し、
服用に際しては必ずお読みください。

感冒剤 13号A

感冒剤 13号Aは、かぜの諸症状を緩解するお薬で、アセトアミノフェン・エテンザミド・カフェインは解熱・鎮痛効果を発揮し、塩酸メチルエフェドリン・マレイン酸クロルフェニラミン・リン酸ジヒドロコデインはそれぞれの働きで鼻水、鼻閉、せき、たん等の症状を緩和します。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 次の人は服用しないでください
 - 本剤による過敏症状（発疹・発赤、かゆみ、浮腫等）を起こしたことがある人。
 - 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬
(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
(眠気があらわれることがあります。)
- 服用時は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください



相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 授乳中の人。
 - 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
 - 高齢者。
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人。
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
 - 糖尿病薬又は抗凝血薬で治療を受けている人。

- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください
(1)服用後、次の症状があらわれた場合

| 関係部位 | 症 状 |
|-------|------------|
| 皮膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | 悪心・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい |
| その他 | 排尿困難 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症 状 |
|--|---|
| ショック (アナフィラキシー) | 服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しき等があらわれる。 |
| 皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群) | 高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。 |
| 肝機能障害 | 全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。 |

| | |
|-------|---|
| 間質性肺炎 | 空せき（たんを伴わないせき）を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。 （これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること） |
| ぜんそく | |

（2）5～6回服用しても症状がよくなる場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください
便秘、口のかわき

効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

成分と作用

6.0g（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

| 成分 | 6.0g中 | 作用 |
|----------------------|---------|------------------------------|
| アセトアミノフェン | 0.36g | 熱を下げ、痛みを和らげます。 |
| エテンザミド | 0.9g | 熱を下げ、痛みを和らげます。 |
| マレイン酸 クロルフェニラミン | 0.0075g | くしゃみ・鼻水・鼻づまり等のアレルギー症状をおさえます。 |
| dl-塩酸メチル エフェドリン散 | 0.6g | せきを和らげ、たんを切ります。 |
| カフェイン | 0.075g | 解熱・鎮痛成分の働きを助けます。また、ねむけを除きます。 |
| リン酸ジヒドロ コデイン100倍散 | 2.4g | せきを和らげ、たんを切ります。 |
| デンプン、乳糖又は これらの混合物 | 適量 | 賦形剤。 |

用法・用量

1回量を次のとおりとし、1日3回、食後服用します。

| 年齢 | 1回量 | 1日服用回数 |
|------------|---------|--------|
| 大人（15才以上） | 1包2.0g | 3回 |
| 11才以上15才未満 | 大人の2/3 | |
| 7才以上11才未満 | 大人の1/2 | |
| 3才以上7才未満 | 大人の1/3 | |
| 1才以上3才未満 | 大人の1/4 | |
| 1才未満の乳児 | 服用しないこと | |

<用法・用量に関連する注意>

- 用法・用量を厳守してください。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 2才未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- 1包の分割した残りを服用する場合には、残量を記載して保管し、2日以内に服用してください。

■お問い合わせ先

製造販売元

【外部の容器又は外部の被包に記載すべき事項】

注意

1. 次の人は服用しないでください。
 - (1)本剤による過敏症状（発疹・発赤、かゆみ、浮腫等）を起こしたことがある人。
 - (2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
3. 服用に際しては、説明文書をよく読んでください。
4. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
5. 小児の手の届かない所に保管してください。
6. 2才未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。